

## くまもとの力～熊本型応急仮設住宅はじめて物語

～全国に類を見ない「熊本型」応急仮設住宅誕生秘話～

主催 一般社団法人 KKN(熊本工務店ネットワーク)  
一般財団法人 熊本県建築住宅センター

日時 平成29年12月13日(水) 午後1時30分

場所 熊本テルサ 1階テルサホール  
(熊本市中央区水前寺公園28-51)

定員 200名(事前申し込み優先・入場無料)

入場無料  
定員200名  
事前申込み優先

講演 (一財)熊本県建築住宅センター 専務理事 田邊 肇  
(前熊本県建築住宅局長)  
(一社)KKN(熊本工務店ネットワーク) 会長 久原 英司

平成28年熊本地震において、熊本県は110団地4303戸(そのうち木造は683戸)の応急仮設住宅を整備しましたが、木造の仮設住宅の基礎を木杭ではなく鉄筋コンクリート造とし、すべて地元工務店が施工に携わったこと、集会施設を木造の「みんなの家」として整備したこと、すべての仮設住宅団地において配置計画に工夫をしてコミュニケーションが生まれやすいようにしたことなど、今までにない応急仮設住宅の取組みは「熊本型仮設住宅」として全国の注目を集めています。

そして、この木造応急仮設住宅整備に地域の工務店が大きく貢献したことにより、災害公営住宅にも地元工務店が参画するという大きな変化が起き始めています。

そこで、「熊本地震からのすまいの再建」をサブテーマとした「くまもとアートポリス建築展2017」の開催に協賛し、発災直後から応急仮設住宅の整備を指揮した熊本県の当時の建築住宅局長(現(一財)熊本県建築住宅センター専務理事)と仮設住宅とは思えない性能の木造仮設住宅の大半を手掛けた(一社)KKN(熊本工務店ネットワーク)の会長の二人のキーマンが、関係団体等からの要請を受けて岐阜、愛媛、徳島、山梨、滋賀、青森、鹿児島各県で講演した熊本型応急仮設住宅誕生秘話を、ご当地、熊本でも披露するものです。

問合せ先 (一財)熊本県建築住宅センター  
電話 096(385)0771 FAX 096(285)6966  
mail [soumu@bhckuma.or.jp](mailto:soumu@bhckuma.or.jp)